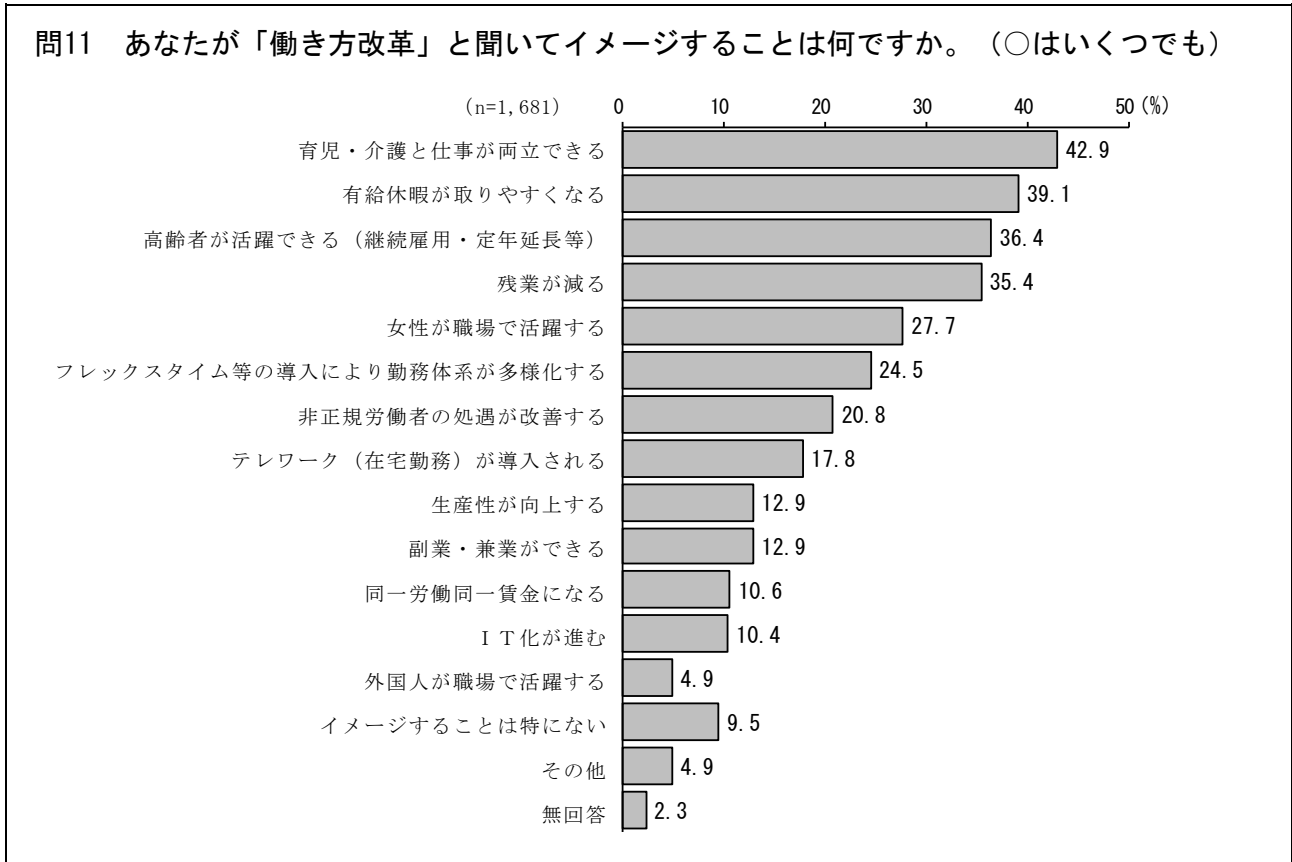


IV 働き方改革

1. 「働き方改革」と聞いてイメージすること

－「育児・介護と仕事が両立できる」が4割超－



「働き方改革」と聞いてイメージすることについては、「育児・介護と仕事が両立できる」（42.9%）が4割を超えて最も高く、次いで、「有給休暇が取りやすくなる」（39.1%）が約4割、「高齢者が活躍できる（継続雇用・定年延長等）」（36.4%）と「残業が減る」（35.4%）が3割台半ばと続いている。

－女性で「育児・介護と仕事が両立できる」が男性よりも約17ポイント高い－

性別でみると、「育児・介護と仕事が両立できる」は、女性（51.3%）が男性（34.3%）よりも17ポイント高い。

－女性の30代で「育児・介護と仕事が両立できる」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「育児・介護と仕事が両立できる」は、女性の30代（66.3%）で6割台半ばと最も高くなっている。

－男性の70歳以上、女性の60～64歳、65～69歳、70歳以上で「高齢者が活躍できる（継続雇用・定年延長等）」が5割超－

性・年齢別でみると、「高齢者が活躍できる（継続雇用・定年延長等）」は、男性の70歳以上（52.4%）、女性の60～64歳（52.5%）、65～69歳（51.5%）、70歳以上（51.4%）で5割を超えて高くなっている。

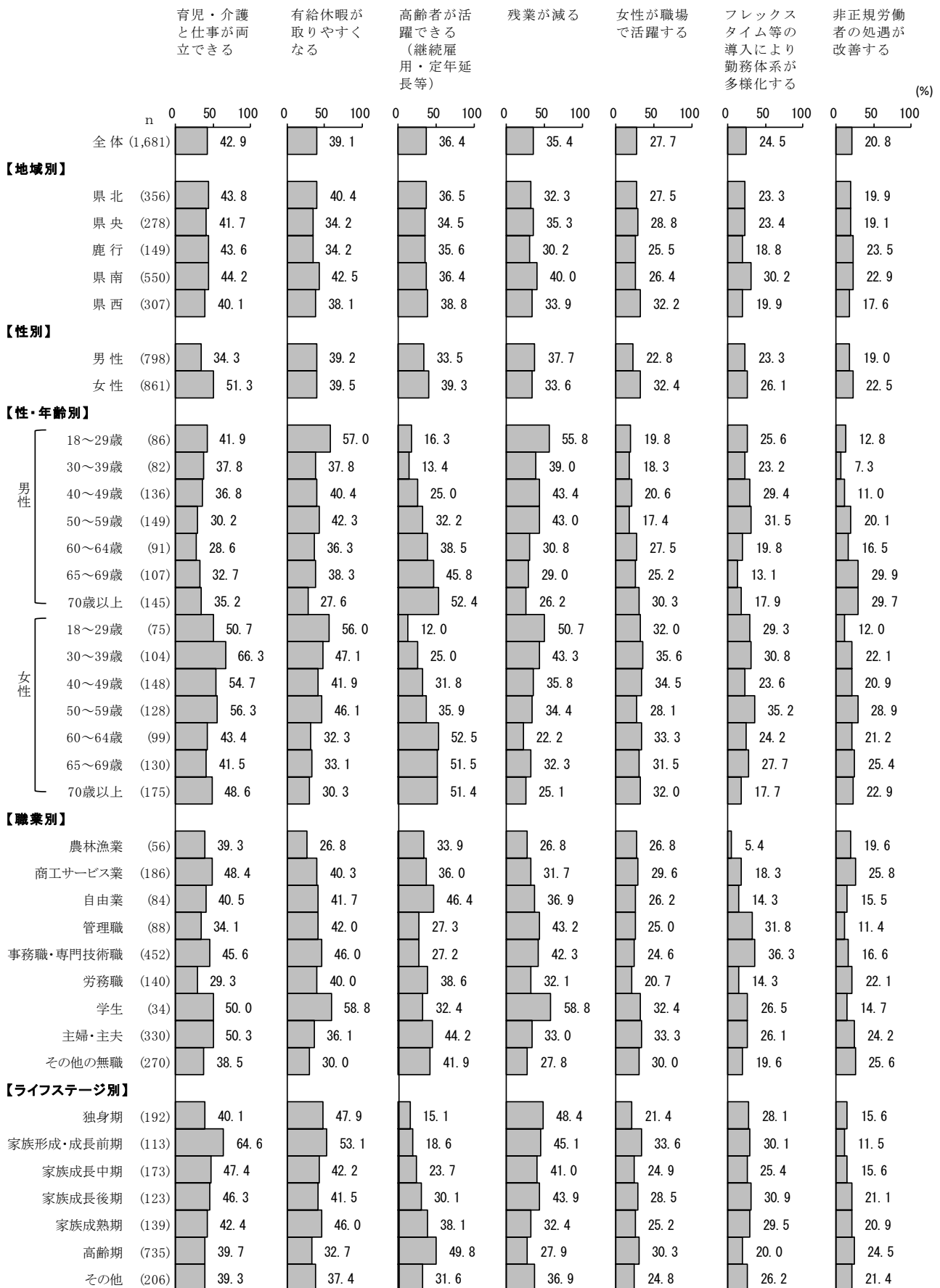
－学生で「有給休暇が取りやすくなる」「残業が減る」が約6割－

職業別で見ると、「有給休暇が取りやすくなる」「残業が減る」は、学生（いずれも58.8%）で約6割と最も高くなっている。

－家族形成・成長前期で「育児・介護と仕事が両立できる」が6割台半ば－

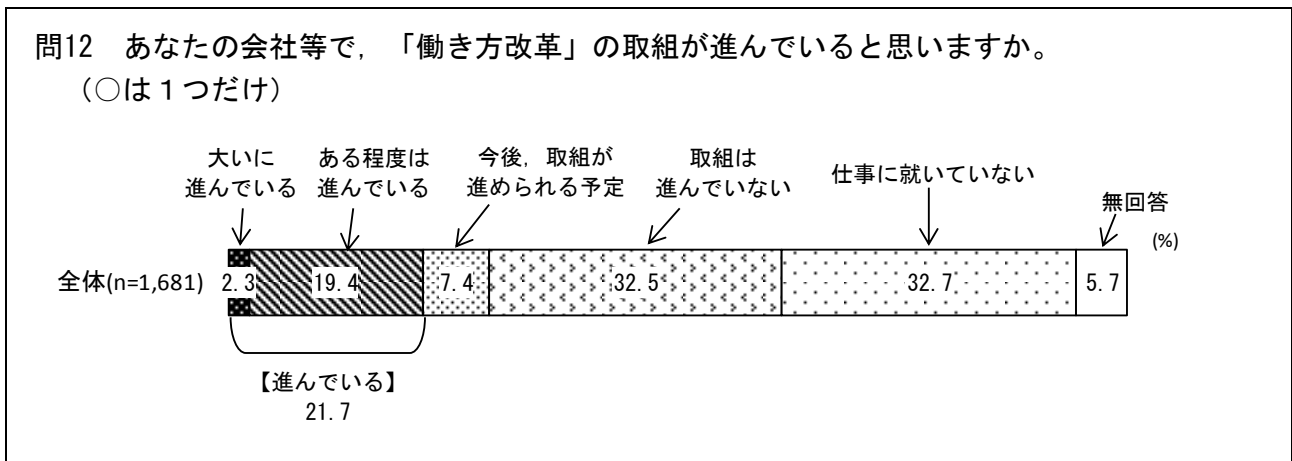
ライフステージ別で見ると、「育児・介護と仕事が両立できる」は、家族形成・成長前期（64.6%）で6割台半ばと最も高くなっている。

図IV 11-1 「働き方改革」と聞いてイメージすること
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



2. 「働き方改革」の取組の進捗状況

－【進んでいる】が約2割－



「働き方改革」の取組の進捗状況は、「大いに進んでいる」（2.3%）と「ある程度は進んでいる」（19.4%）を合わせた【進んでいる】（21.7%）が約2割であるのに対し、「取組は進んでいない」（32.5%）が3割を超えている。

－男性で【進んでいる】が女性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、【進んでいる】は、男性（26.1%）が女性（17.9%）よりも約8ポイント高い。

－男女の30代、男性の40代、50代で【進んでいる】が3割台－

性・年齢別でみると、【進んでいる】は、男性の30代（35.4%）、40代（36.7%）、50代（32.9%）、女性の30代（33.6%）で3割台と高くなっている。

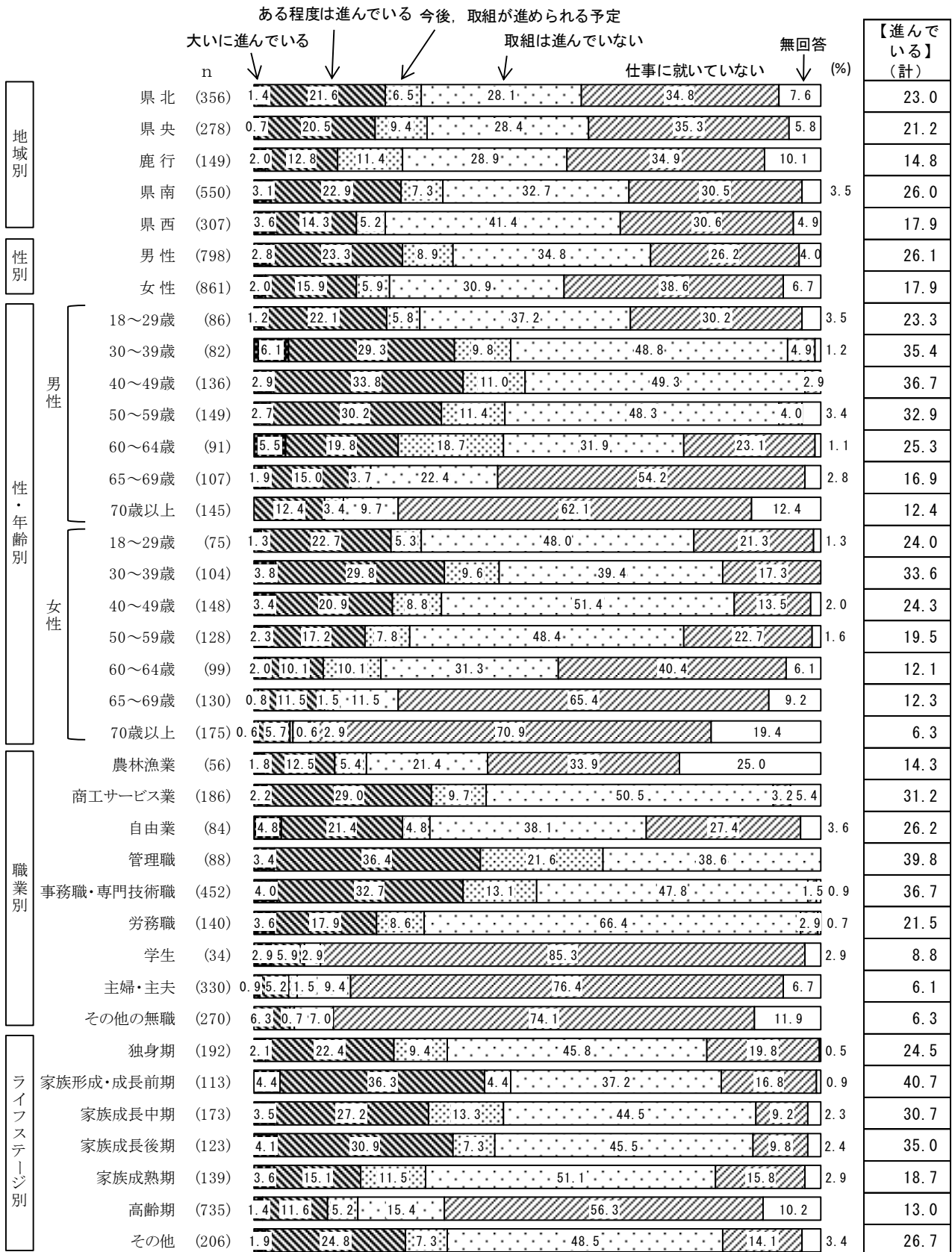
－管理職、事務職・専門技術職で【進んでいる】が3割台後半－

職業別でみると、【進んでいる】は、管理職（39.8%）、事務職・専門技術職（36.7%）で3割台後半と高くなっている。

－労務職で「取組は進んでいない」が6割台半ば－

職業別でみると、「取組は進んでいない」は、労務職（66.4%）で6割台半ばと最も高くなっている。

図IV 12-1 「働き方改革」の取組の進捗状況
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別)

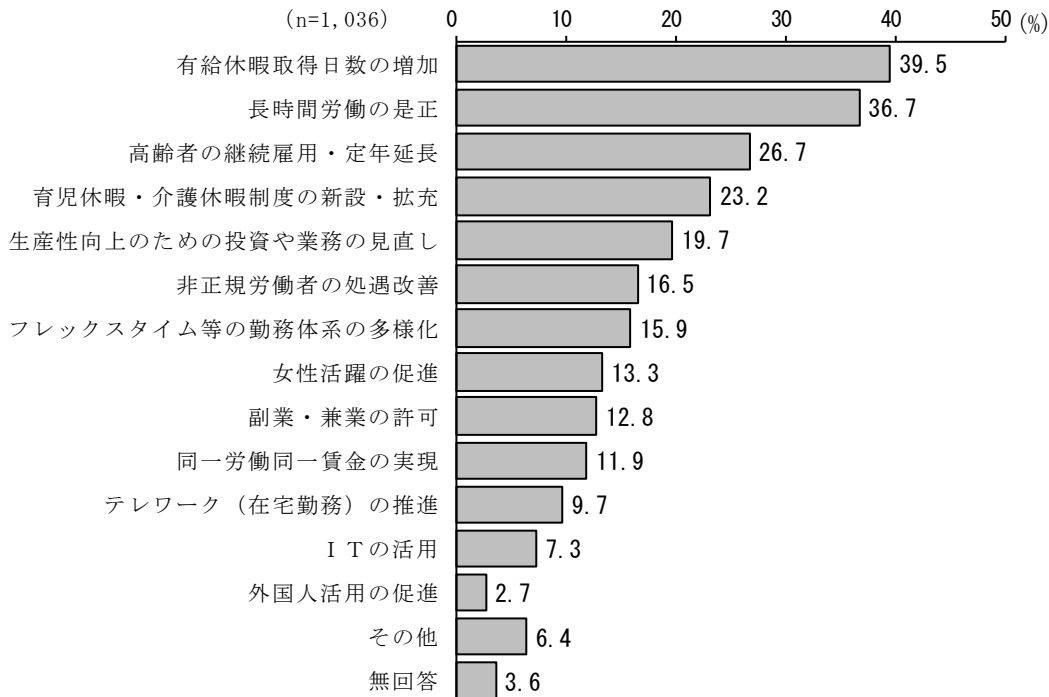


3. 「働き方改革」の推進にあたり、会社などで特に力を入れてほしいこと

－「有給休暇取得日数の増加」が約4割－

(問12で「1」～「4」と回答した方へ)

問12-1 今後、「働き方改革」を推進するにあたって、あなたの会社等で特に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)



「働き方改革」の推進にあたり、会社などで特に力を入れてほしいこととしては、「有給休暇取得日数の増加」(39.5%)が約4割で最も高く、次いで、「長時間労働の是正」(36.7%)が3割台半ば、「高齢者の継続雇用・定年延長」(26.7%)と「育児休暇・介護休暇制度の新設・拡充」(23.2%)が2割台半ばで続いている。

－男性で「長時間労働の是正」が女性よりも約11ポイント高い－

性別でみると、「長時間労働の是正」は、男性(42.0%)が女性(30.8%)よりも約11ポイント高くなっている。

－男性の18～29歳で「有給休暇取得日数の増加」が約5割－

性・年齢別でみると、「有給休暇取得日数の増加」は、18～29歳の男性(50.9%)で約5割と最も高くなっている。

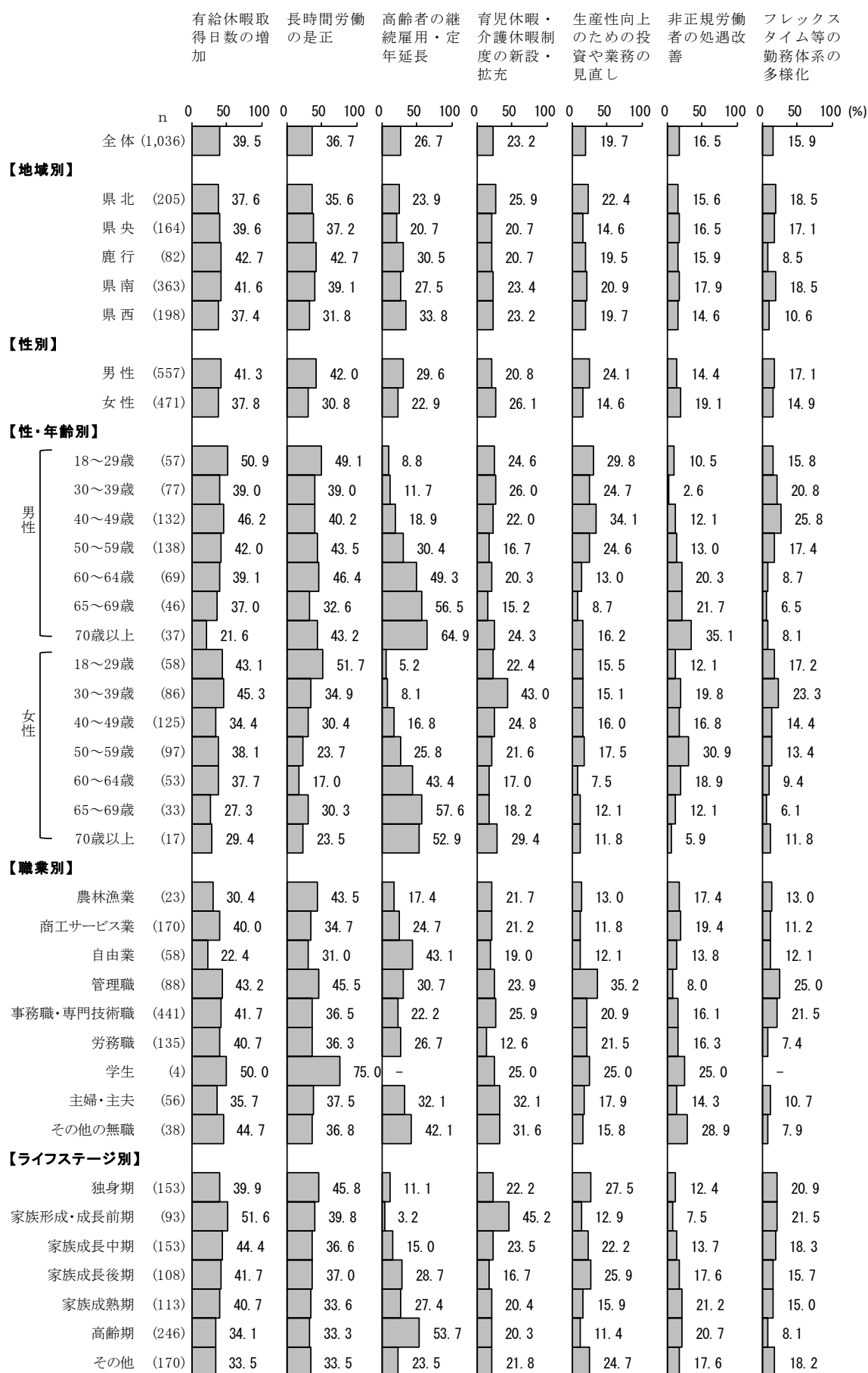
－女性の18～29歳で「長時間労働の是正」が5割超－

性・年齢別でみると、「長時間労働の是正」は、女性の18～29歳(51.7%)で5割を超えて最も高く、次いで、男性の18～29歳(49.1%)で約5割と高くなっている。

－男性の70歳以上で「高齢者の継続雇用・定年延長」が6割台半ば－

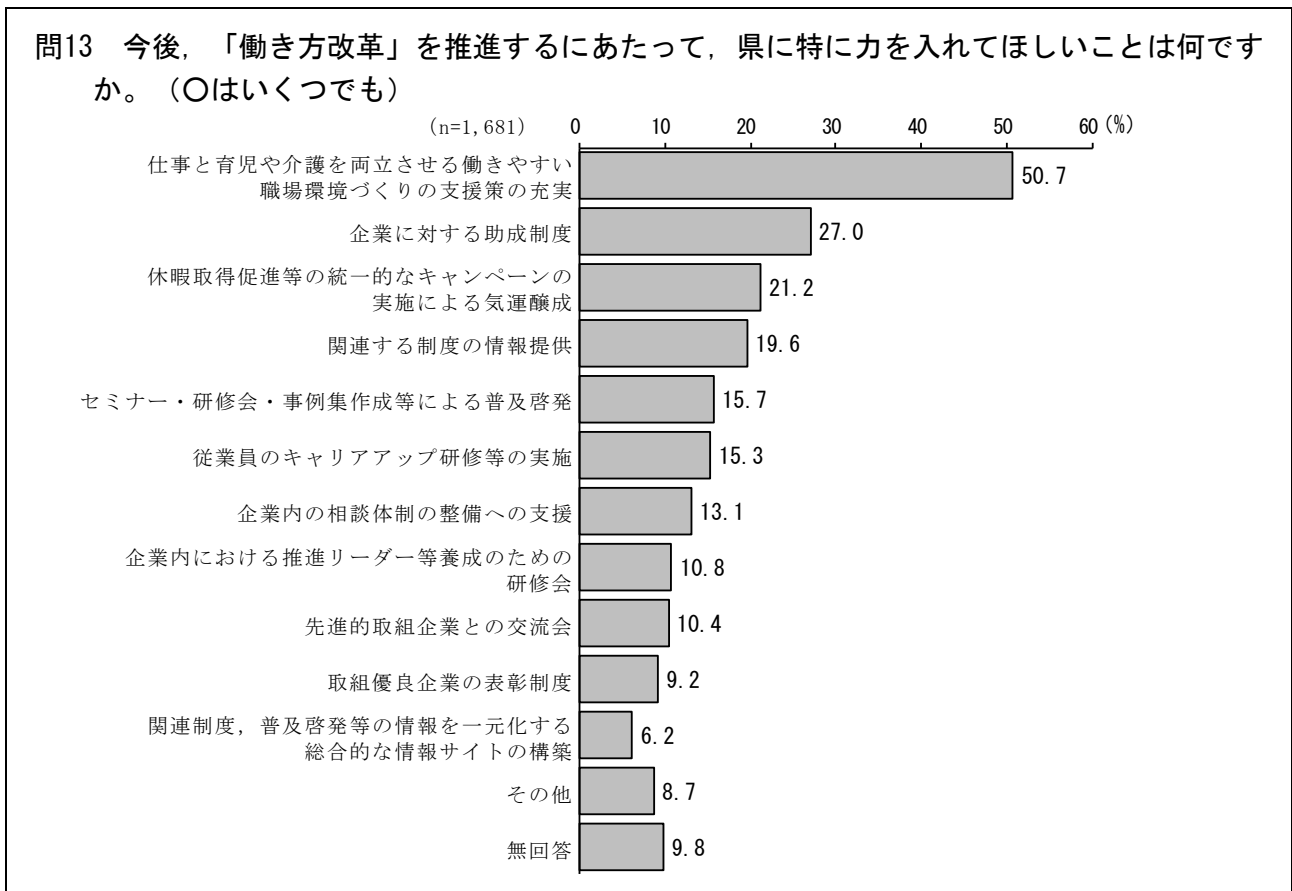
性・年齢別でみると、「高齢者の継続雇用・定年延長」は、男性の70歳以上(64.9%)で6割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅳ 12-1-1 「働き方改革」の推進にあたり、会社などで特に力を入れてほしいこと
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



4. 「働き方改革」の推進にあたり、県に特に力を入れてほしいこと

－「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」が約5割－



「働き方改革」の推進にあたり、県に特に力を入れてほしいこととしては、「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」(50.7%)が約5割で最も高く、次いで、「企業に対する助成制度」(27.0%)が約3割、「休暇取得促進等の統一的なキャンペーンの実施による気運醸成」(21.2%)が2割を超えて続いている。

－女性で「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」が男性よりも約18ポイント高い－

性別で見ると、「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」は、女性(59.3%)が男性(41.7%)よりも約18ポイント高くなっている。

－男性で「企業に対する助成制度」が女性よりも約10ポイント高い－

性別で見ると、「企業に対する助成制度」は、男性(32.5%)が女性(22.1%)よりも約10ポイント高くなっている。

－女性の30代で「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」が7割超－

性・年齢別で見ると、「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」は、女性の30代(71.2%)で7割を超えて最も高くなっている。

－男性の50代で「企業に対する助成制度」が4割超－

性・年齢別でみると、「企業に対する助成制度」は、男性の50代（41.6%）で4割を超えて最も高く、次いで、男性の18～29歳（40.7%）、40代（39.7%）で約4割と高くなっている。

－主婦・主夫で「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」が6割台半ば－

職業別でみると、「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」は、主婦・主夫（63.6%）で6割台半ばと最も高くなっている。

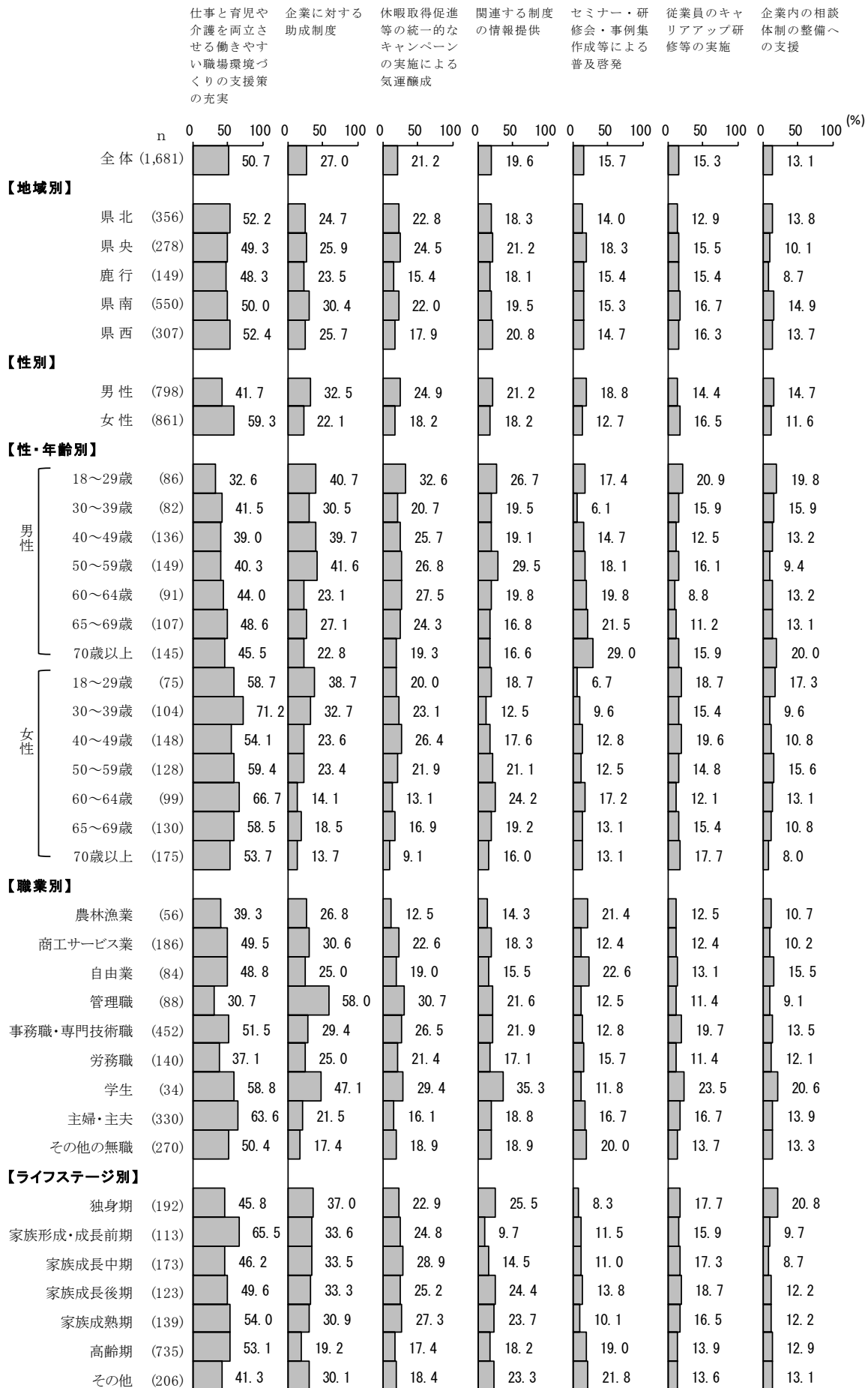
－管理職で「企業に対する助成制度」が約6割－

職業別でみると、「企業に対する助成制度」は、管理職（58.0%）で約6割と最も高くなっている。

－家族形成・成長前期で「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」が6割台半ば－

ライフステージ別でみると、「仕事と育児や介護を両立させる働きやすい職場環境づくりの支援策の充実」は、家族形成・成長前期（65.5%）で6割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅳ 13-1 「働き方改革」の推進にあたり、県に特に力を入れてほしいこと
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



5. 「働き方改革」の推進にあたり、県に求めることや要望（自由記載の集計と一部抜粋）
 — 「企業への指導・監督の強化」が最も多い —

問13 また、「働き方改革」について県へ具体的に求めることやご意見等あれば、その他の回答欄にご記入ください。

順位	項目	件数
第1位	企業への指導・監督の強化	14
第2位	仕事と子育ての両立支援	11
第3位	期待しない・変わらない	9
第4位	賃上げ	8
第5位	県が率先して行う	6
"	非正規の待遇改善	6
"	経営者の意識改革を促す	6
第8位	非正規の正規への転換	4
"	有給休暇の取得促進	4
"	多様な働き方の推進	4
"	企業(中小企業)では困難	4
"	働いていない	4
第13位	教育現場の改革	3
"	罰則を設ける	3
"	人員確保	3
第16位	推進のための条例の制定	2
"	高齢者の就職支援	2
"	介護への支援	2
"	男女平等	2
"	国への働きかけ	2
"	企業の誘致	2
-	分からない	3
-	その他	39

※回答内容ごとに項目へ分類。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

「働き方改革」の推進にあたり、県に求めることや意見（自由記載）としては、「企業への指導・監督の強化」が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立支援」が上位に挙げられている。一方で、「期待しない・変わらない」も上位に挙げられている。

「企業への指導・監督の強化」 (14件)

[記載内容の抜粋]

- 企業内での陰湿ないじめの指導。(男性, 40~49歳)
- 長時間労働と過労死を起こさせない, 指導と監督を求める。(男性, 70歳以上)
- 私はプログラマーです(組み込み)。IT業界はリーマンショック以降, サービス残業が多いです。働き方改革が話題になってから, さらに「時短ハラスメント」が加わりました。この2つを徹底的に取り締まらなると改革を進めるごとに, うつ病患者が増えます。(男性, 40~49歳)
- 企業に対する抜き打ち調査。(男性, 40~49歳)
- 残業等で労基の立ち入りが入った場合, 本社等の上層部だけの話を聞く・見るのではなく, 底辺の現場を見てほしい, 徹底的に。報告のための報告書を見て現場が良くなる事はない! (自動車ディーラー等)。(男性, 40~49歳)
- 助成(金)には反対です。取り組んだ企業にとって本当にプラス効果があるのであれば, 県内企業に指導を徹底すれば良いだけの事です。企業にとってマイナスが発生する事を見込んでのバラマキにしか思えません。(男性, 40~49歳)

「仕事と子育ての両立支援」 (11件)

[記載内容の抜粋]

- 企業内託児所の充実。(女性, 30~39歳)
- 子どもがいても働きやすくする。すぐに社会復帰できるようにする。(女性, 18~29歳)
- 女性が妊娠, 出産, 子育て, と仕事を無理なく両立できる体制作りをお願いします。(女性, 65~69歳)
- 保育園を増やしてほしい。保育料を安くしてほしい。(男性, 40~49歳)
- 仕事と育児の両立は, 女性に負担も多い。家庭も大切だが, やりたい仕事をどうすればうまく両立できるか, 悩むことも多い。経済面での支援が充実することで, 育児にも余裕ができるのではないかと思います。県も大変でしょうが, 働く女性, 働く母に環境が整うよう, 考えて頂きたいです。(女性, 30~39歳)
- 長時間労働, サービス残業を是正するために, タイムカード導入を促進させて欲しい。子育てしながら働けるように, 時短勤務できるようにしてほしい。(女性, 18~29歳)

「期待しない・変わらない」 (9件)

[記載内容の抜粋]

- 改革といいながら, 経営者理論が優先するため, なかなか進まないと思う。(女性, 70歳以上)
- 結局自分が属している会社に左右されることですので, 県に何かをしてもらおうとは思いません。(女性, 50~59歳)

「賃上げ」 (8件)

[記載内容の抜粋]

- 基本給が安い工場勤務は残業をしないと給料がとて安くてやっていけない。だったら賃金を上げるなど対策してほしい。小さい子どもがいて母親は働いても, 子どもの熱や体調で休んだりしなくてはいけないのに, 非正規は有休もあまりなく, とて間に合わない。非正規にも, 正社員に近い処遇にしてほしい。(女性, 30~39歳)
- 「働き方改革」は労働者の「働かせ改革」ではないでしょうか。非正規労働や低賃金をなくしていくために, 県は頑張ってくださいと思います。(男性, 60~64歳)
- 仕事・職場が楽しく, 働きに見合った給金が支払われるように。各々が幸せを感じて生きていかれない世の中では, 未来はありません。(女性, 70歳以上)